

大山隠岐国立公園

SHIMANE × TOTTORI × OKAYAMA = ∞

—世界の人々が満喫できる国立公園に—



環境省 大山隠岐国立公園管理事務所 所長
中山 直樹

大山隠岐国立公園とは？

＜指定＞ 昭和11年・日本で6番目

＜面積＞ 35,353ha

＜所在＞ 鳥取県・島根県・岡山県

＜年間利用者数＞ 全国6位

＜テーマ＞

日本の大地の成り立ちが刻まれ、
神話・信仰が息づく山・島・海
～山から海まで多彩な自然の恵みを楽しむ～

＜主要なポイント＞

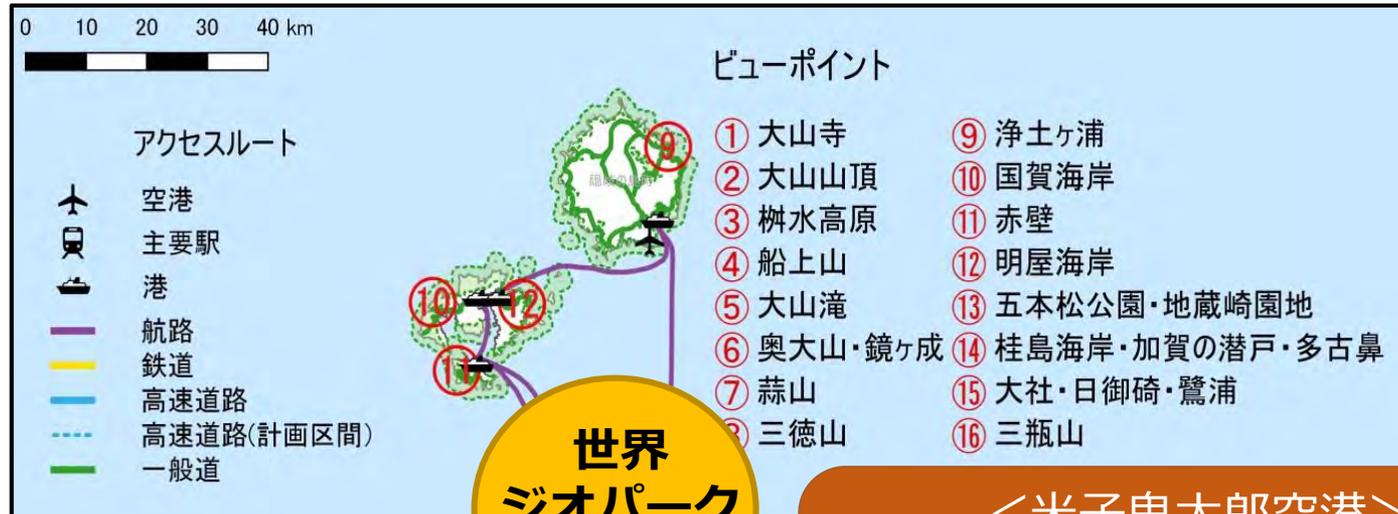
大山・蒜山・三徳山・美保関・出雲
大社・日御碕・三瓶山・隠岐4島等

＜特徴＞

- ①山岳・草原・半島・島嶼の多様な景観
- ②神話・信仰が息づく人文景観
- ③周辺と一体となって魅力を提供



大山隠岐国立公園と国外からのアクセス



＜境港クルーズ客船客寄港＞
2016：33回4万人→
2017:61回6万7千人に増加
主に中韓台湾

＜米子鬼太郎空港＞
ソウル便：12月より週3→5便に
香港便：週2日
ベトナム・台湾よりチャーター便

＜出雲縁結び空港＞
台湾よりチャーター便

ラムサール
条約湿地
中海・宍道湖

世界
ジオパーク
山陰海岸

世界遺産
石見銀山

国際空港・国際フェリー港
から30分で国立公園に

山陰のインバウンド対応

- ・ 広域連携DMO・日本版DMOである「一般社団法人山陰インバウンド機構」が山陰両県のインバウンド対応を実施
- ・ 広域観光周遊ルート「縁の道」及びそのモデルルートの中核に国立公園を位置付け、国内外の商談等でプロモーションを実施

広域観光周遊ルート：縁の道～山陰～

モデルコース： ジオパーク&ナショナルパーク アクティビティ



<山陰インバウンド機構HPより抜粋>

国立公園満喫プロジェクトで目指す姿

ステップアッププログラム（H28.12策定・H29.10改訂）で定められた数値目標
大山隠岐国立公園における2020年の訪日外国人利用者数を2015年の2.5倍に

本来の魅力である自然や景観が守られ活かされる

安全安心が確保され、ルールやマナーも徹底

快適な滞在環境と多彩な楽しみ方を提供

アクセシビリティの充実

利用情報と快適なネットアクセスが充実

多様な主体と連携

周辺地域と連携した魅力の提供（H29.10に追加）

①連携体制
全体協議会
県別部会×2
エリア別部会×4
→H29年度のみで
12回開催済

②連携事業
運輸局・県・自治
体・DMO・企業等
と連携事業を実施

観光拠点・交通拠点等を有する周辺地域と連携した公園への誘導や魅力の提供が必要
個別取組の追加：水陸両用機活用による上空の周遊、広域的なトレイルルート設定 等

今次発表で紹介する取り組み

利用者負担による保全の仕組みづくり

引き算の景観改善

キャンプ場の改革

アクセス環境の改善

プロモーション

その他、ハード整備・人材育成・コンテンツ
磨上げ・受入環境整備等の事業を実施中

利用者負担による保全の仕組みづくり①

- ・ 三瓶山（さんべさん）の草原景観維持のため伐採した木材を薪にして販売、売上の一部を寄付
- ・ 地元飲食店舗「さんべバーガー」の**バーガー料金の一部を寄付**
→持続可能な景観保全活動（自然資源を活用した地域における経済循環）



利用者負担による保全の仕組みづくり②

- ・ 来年大山寺にリニューアルオープン予定の大山ナショナルパークセンターにおいて、休憩機能・登山基地機能を強化し、ロッカー・シャワーの利用料金を施設の管理運営に反映する仕組みを構築中

【休憩機能の強化】

- ・ テラス増床
- ・ 休憩スペース拡大
- ・ シャワールーム
- ・ コインロッカー

【登山基地機能の強化】

- ・ デジタルサイネージ、電子黒板、アプリ等の活用による多言語での登山・国立公園情報の提供



利用者負担による保全の仕組みづくり③

- ・ 世界最大級の両生類オオサンショウウオの主要な生息地となっている日野川源流域の里山において、行政・研究者・地域住民・事業者で連携したオオサンショウウオの保全活動に貢献するツアープログラムをキラーコンテンツとして育成中。



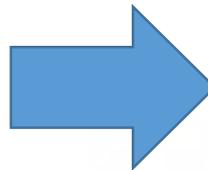
- ・ ファムトリップで試行的にツアーを実施
→ 参加者から高い評価

- ・ 次年度以降のツアー実施に向けた外国人アドバイザーによる調査を実施、エコツアー人材育成を今後予定。



引き算の景観改善①

- 大山寺地区において、大山町が内閣府の交付金を活用し、廃屋を撤去してカフェや物販機能を有する「(仮称)山の駅」を整備中



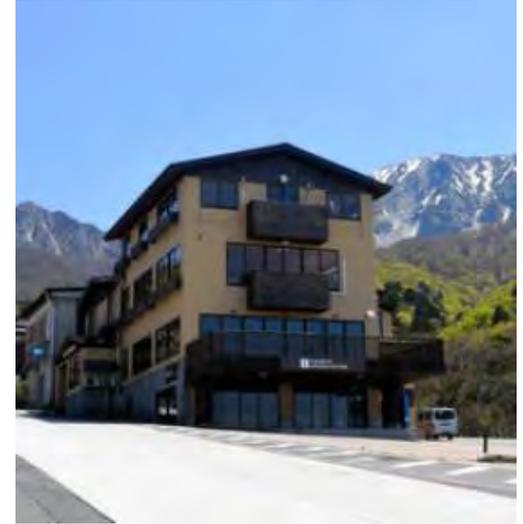
山の駅(仮称)外観
(今後変更可能性有)



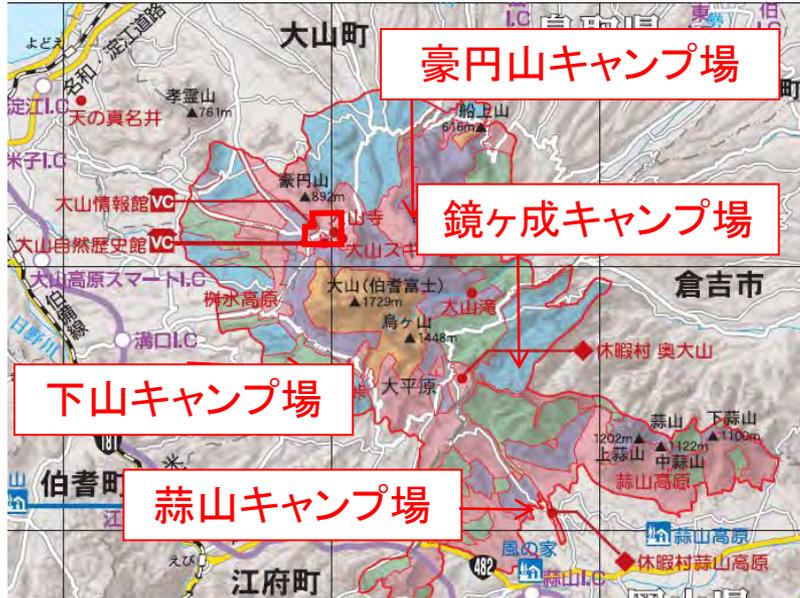
- 大山寺地区において、鳥取県が次年度以降の電柱の地中化・高さ変更に向けて検討中

引き算の景観改善②

- 大山寺地区において、廃業となっていた「旧こもれび館」を鳥取県・大山町が内閣府・文化庁（映像のみ）の交付金を用いて改修。
- 観光案内・ツアーデスク機能・アウトドア用品レンタル機能を有する施設（1F：大山観光局）、カフェ（2F：民間事業者）を本年オープン



キャンプ場の改革①



- 大山蒜山エリアにおける環境省直轄の4野営場において、**平成31年度中までの再整備を目指し基本計画等を策定中。**
- スノーキャンプやグランピング等の新たなキャンプニーズ、周辺との一体的な利用、民間事業者によるノウハウ等を踏まえた整備を目指して検討中

- 三瓶山北の原キャンプ場においてニーズ調査のための**グランピング体験を試行**次年度限定プランとしての販売を検討中



キャンプ場の改革②



- ・スノーピーク受託事業により、蒜山地域において、11月15-16日に、インバウンド・アウトドア関係有識者・地域の行政・観光関係者・休暇村協会・環境省を集めたモニタリングキャンプを開催。



- ・蒜山キャンプ場を核として、周辺のサイクリング体験、施設訪問、地域の食材を用いた料理を組み合わせたプログラムを体験。
→**高い評**



- ・蒜山の魅力の発信方法、キャンプ場の活用等について意見交換。
→**ソフトと組み合わせた魅力発信**

アクセス環境の改善

- ・ 夕日の絶景地域をPRするため、**夕日の時間帯に日御碕灯台や日御碕神社を巡るガイド付きバス**（出雲日御碕夕日観賞バス）を出雲市が**H29.7～11に新たに運行開始**
- ・ **皆生温泉～大山寺の定額タクシーを10月～11月に期間限定で運航開始。**
- ・ **蒜山地域の宿泊者を対象にタクシー1台の貸し切り料金を割引くキャンペーンを開始**



更なる二次交通の充実化が喫緊の課題

プロモーション：口コミ評価の拡大

- ・ 口コミ評価の国外への拡大による来訪客増加を目指し、日本在住外国人と連携したイベントを開催



- ・ 域内在住外国人に対する国立公園写真教室・外国人写真展開催 (米子空港・松江歴史館・隠岐)

- ・ 域内在住外国人向けの国立公園紹介イベントを今年度これまでに3回開催 (大山・米子・出雲)



- ・ 日本在住外国人による SNS等を通じた国立公園の魅力発信を進めるため、大山隠岐国立公園国際パークサポーターを立ち上げ (これまでに13か国19名が登録)

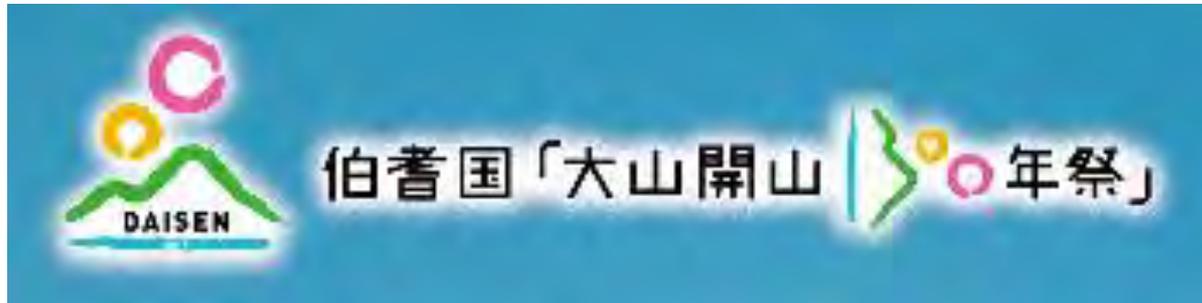
プロモーション：秋季ファムトリップ開催



- 10/30-11/2に3県をまたぐ大山パークウェイと周辺地域を対象に欧米豪の個人客を想定したファムトリップを開催
- 9名の外国人が参加し、各コンテンツの評価・推薦度は高評価（大半が5段階評価中の4以上）→ 国外に売れることの確認
- 地域の事業者等による今後のコンテンツの磨き上げやプロモーションにも貢献（参加者によりSNS等で情報発信）



プロモーション：他のイベント・事業との連携



\\島根県開催 正式決定!!/



日本遺産登録地：大山・三徳山・日御碕